

「ジュニアエリートテニス選手におけるスポーツ損傷・障害のリスク評価 および予防に資するデータベース構築」について

【事業あらまし】

関西ジュニアテニス選手権および全日本ジュニアテニス選手権において、大会メディカルスタッフが選手の体調への注意喚起や体調への考え方などの教育および試合中における万が一の事態への対処を目的に、2007年から選手にセルフチェックシート①（SMC①）（事前登録）およびSMC②（試合当日）を提出していただいています。また、大会期間中に発生したケガおよび病気に関して、大会医師が診察を行い、受傷部位や原因等の医学的情報をまとめています。

【はじめに】

上記の事業を行って集積されたSMC①およびSMC②、大会期間中に発生したケガ・病気情報を、個人が特定されない状態に匿名化して、ケガの発生率やケガ・病気を起こしやすい傾向について調べています。この研究は、関西テニス協会医・科学委員会と大阪大学などが共同で行っています。

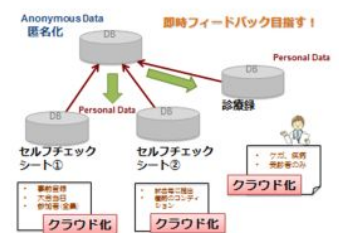
【目的】

1. どのような状態の時に、ケガ・病気などを起こしやすいのかを分析し、適切な予防プログラム作りにつなげていきます
2. どのような体調の時に、安全かつ最適なパフォーマンスにつながるのかを分析し、適切なパフォーマンス発揮プログラム作りにつなげていきます。

【方法】

関西ジュニアテニス選手権大会および全日本ジュニア選手権大会に参加している選手が提出したSMC①（事前登録）およびSMC②（試合当日）、大会期間中に大会医師の診察を受けたケガ・病気に関する情報、ボールトラッキングを用いる。それぞれのデータを結合させ、ジュニアテニス選手の特徴や大会期間中のケガ・病気になる傾向などを調べています。なお、研究では個人が特定できる情報は削除したデータを用いる。

ジュニアテニス大会でのデータ収集システム



【同意・不同意に関して】

ご提出していただいたSMC①およびSMC②のデータを個人がわからない状態にして、学会発表などで使う場合があります。同意していただける場合は、同意書を提出してください。なお、同意書を提出した場合でも、いつでもやめることができます。ご自身の回答結果を研究のために提供したくないといった場合はいつでも、下記までお申し出いただきますようお願い申し上げます。

【その他】

事業や研究について、詳しいことをお知りになりたい場合は、関西テニス協会スポーツ医・科学委員会までご連絡ください。

データ管理責任者：関西テニス協会スポーツ医・科学委員会（委員長、大会責任ドクター）

連絡先：kansaita201610@hotmail.com（大会期間中）